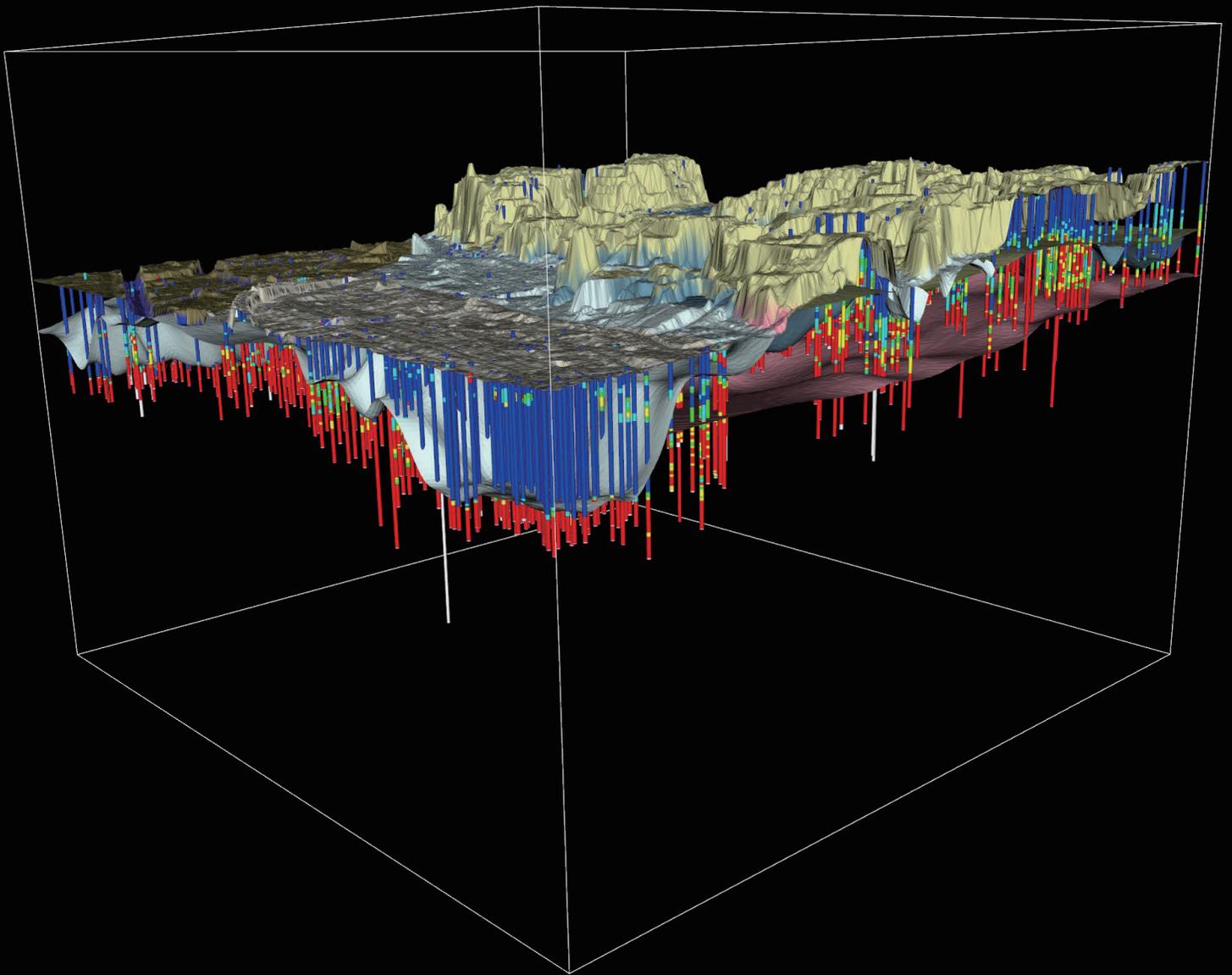


GSJ 地球をよく知り、地球と共生する 地質ニュース

2021

7

Vol.10 No.7



特集

東京23区の3次元地質地盤図



7月号

特 集

東京 23 区の 3 次元地質地盤図

- 141 巻頭言：特集号「東京 23 区の 3 次元地質地盤図」
中澤 努・野々垣 進・小松原純子・納谷友規
- 143 東京都区部の地質地盤図
—3 次元地質モデル作成方法と公開ウェブサイト—
野々垣 進・中澤 努・納谷友規・小松原純子・宮地良典・尾崎正紀
- 148 東京低地の沖積層
小松原純子
- 153 東京都区部の台地を構成する地層の層序
—東京層と下総層群—
納谷友規・中澤 努
- 159 自治体からの 3 次元地質地盤図への期待
中山俊雄
- 162 海陸シームレス地質情報集「相模湾沿岸域」
中島 礼
-
- 168 新刊紹介 「歴史のなかの地震・噴火
過去がしめす未来」
- 170 新人紹介 横山由香・齋藤直輝・児玉匡史・齋藤健志

GSJ 地質ニュース編集委員会

委員長 宮地良典
副委員長 小松原純子
委員 杉田創
児玉信介
戸崎裕貴
森田雅明
宇都宮正志
伏島祐一郎
森尻理恵

事務局

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター
地質情報基盤センター 出版室
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ 地質ニュース 第10巻 第7号
令和3年7月15日 発行

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1 中央第7

印刷所

GSJ Chishitsu News Editorial Board

Chief Editor : MIYACHI Yoshinori
Deputy Chief Editor : KOMATSUBARA Junko
Editors : SUGITA Hajime
KODAMA Shinsuke
TOSAKI Yuki
MORITA Masaaki
UTSUNOMIYA Masayuki
FUSEJIMA Yuichiro
MORIJI Rie

Secretariat Office

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
Geological Survey of Japan
Geoinformation Service Center Publication Office
E-mail : g-news-ml@aist.go.jp

GSJ Chishitsu News Vol. 10 No. 7
July 15, 2021

Geological Survey of Japan, AIST

AIST Tsukuba Central 7, 1-1-1, Higashi, Tsukuba,
Ibaraki 305-8567, Japan

地質標本館 特別展

南極

の過去と現在、そして未来

研究最前線からのレポート

2021年

8月3日(火)

~11月7日

大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

協力：国立極地研究所

文部科学省 科学研究費助成事業

新学術領域研究「熱-水-物質の巨大リザーバ：
全球環境変動を駆動する南大洋・南極氷床」

開催場所：地質標本館 1階ホール

開館時間：9時30分～16時30分

休館日：毎週月曜日(休日の場合は翌平日)

10月30日(臨時休館)

入場
無料

※ご見学には事前予約が必要です

地球上で最も寒い南極は人類が最後に到達した大陸であり、未だその素顔は十分に明らかにされていません。近年、南極氷床の融解により、世界の海面が予想以上のスピードで上昇することが懸念されています。今、南極で何が起きているのか。今後どうなっていくのか。最新の研究から明らかにされつつある南極大陸とそれを取り囲む海の謎に迫ってみましょう。

国立研究開発法人 産業技術総合研究所

地質調査総合センター



GEOLOGICAL MUSEUM

地質標本館

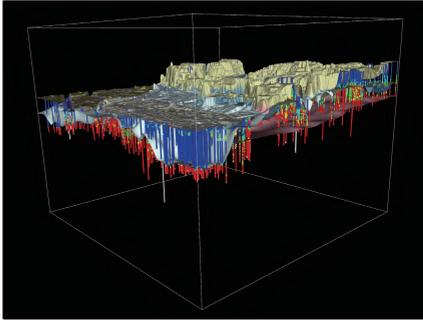


〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1

TEL : 029-861-3750, 3754 <https://www.gsj.jp/Muse/>

GSM20210729





2021年5月にウェブ公開した都市域の地質地盤図「東京都区部」では、東京23区域の地下数十mまでの地質を立体図(2.5 km × 2.5 km, 高さの強調10倍)として閲覧することができる。画像は東京都港区三田付近の立体図(北東からの鳥瞰)で、地下のボーリング柱状図の色分けはN値を示している。港区三田付近は東京低地と武蔵野台地の境界に位置し、低地の地下には谷を埋めるように軟らかい(柱状図で青色の表示)沖積層が、また台地の地下にはやや固い(柱状図で黄色や赤色の表示)更新世の地層が分布することが立体図から見て取れる。

(画像・文:中澤 努・野々垣 進 産総研地質調査総合センター 地質情報研究部門)

3D view of geology around Mita, Minato-ku, Tokyo. Graphic and Caption by NAKAZAWA Tsutomu and NONOGAKI Susumu